

発足18年を迎えた東京産学交流会



マテリアル

細貝 淳一社長

■世界経済が失速している感がある。従来の常識なり理論が通用しない時代になった。仕事を自分から取っていく心構えが必要になる。

■航空機部品の加工を強化したい。昨年、航空宇宙分野の規格である「JIS Q 9100」を取得した。加工の精密さをアピールして、自動車など他分野の量産案件を取っていく。

■「使われない経営」を目指したい。2007年から新規の設備投資は行っており、治具を工夫して既存の設備をやりくりして、利益率を上げてきた。見えない骨組みを強くする。

(マシニング加工、材料販売)

航空機部品の加工強化

ヤマシンフィルタ

大越 和弘取締役
執行役員開発本部長



■昨年並みの景気が続く。とみている。メイン製品である建機用フィルタは中国市場で順調に売り上げを伸ばしてきたが、近年はローカルメーカーの成長が著しい。指導者の交代も予定され、中国市場が最も気配りだ。

■建機用フィルタを横展開する。作動油をろ過するフィルタは、世界市場で高いシェアを保っている。今後はトランスミッション用など、他のカーの成長が著しい。指導者の交代も予定され、中国市場が最も気配りだ。

■建機用フィルタを横展開する。作動油をろ過するフィルタは、世界市場で高いシェアを保っている。今後はトランスミッション用など、他のカーの成長が著しい。指導者の交代も予定され、中国市場が最も気配りだ。

南東京特集



南武 野村 和史社長

日・中・タイの現法活用

■新興国の需要は堅調に伸びており、世界の景気はそれほど悪くないとみている。一方で、歴史的な円高は輸出の足かせになっている。国内市場は頭打ちで、海外市場を取り込まなければ成長できない。

■現状維持を目指す。タイ法人「ナンプシラルタイランド」は、幸い洪水の被害を受けなかった。日本、中国、タイの3拠点を有機的に活用できるようにしたい。

(金型用油圧シリンダーの製造販売)

関 雅雄会長
東京メタリコン



■東日本大震災以降、橋や道路の建設計画は多くがストップしている。コンクリートやアスファルトの腐食を防止する溶射の需要は低迷が続くだろう。

■全国の溶射企業26社で構成する「防食溶射協同組合」で、環境対応の溶射技術の開発を進めている。今年中にめどが付く予定で、溶射の幅広い用途を新しい分野にアピールする。

■社員には明るく、元気で、楽しく仕事をしてもらいたい。製造業を取り巻く環境は厳しい状況が続くが、暗い話をしても始まらない。

(各種金属の溶射加工)



THK 白井 武樹常務

免震システム 世界市場へ

■景気動向はたいへんに不透明と感じる。今年はアメリカや韓国で大統領選挙が控えており、中国も総書記が交代する。依然として需要が堅調なのは中国市場くらいで、現在、中国工場を増強を進めている。

■東日本大震災を機に、免震テーブルやモジユールなど精密機器向けの免震システムが好調だ。これを伸ばして、半導体分野などの落ち込みをカバーしたい。

■新しい市場を創出した。免震システムは地震国のイタリアやアメリカなど、世界中から引き合いが殺到している。グローバルに新しい仕事を探していく。

(LMガイドやボールネジスライダなど機械要素部品の製造販売)

環境対応の技術開発

■社員には明るく、元気で、楽しく仕事をしてもらいたい。製造業を取り巻く環境は厳しい状況が続くが、暗い話をしても始まらない。

(各種金属の溶射加工)



田邊ホールディングス

田邊 光社長

■回復基調に転じているのではない。東日本大震災の復興需要が軌道に乗れば、溶接などに使う産業用高圧ガスの需要は高まる。ただし、国内から製造業が姿を消しつつある今、あまり長続きすると思えない。

■2010年4月から持ち株会社制に移行し、人材派遣業や福祉事業を始めた。こちらの方は伸びていく手応えを感じている。産業用ガス事業で落ちた売り上げを他で補いたい。

■目の前の仕事をきっちりこなす。営業力を強化し、既存のお客さまを大事にしていきたい。(産業用ガス・家庭用エネルギーの供給、人材派遣・福祉事業の運営)

人材派遣・福祉に手応え



新興国の需要取り込む

■国内市場には明るい材料がなく、アジアの新興国の需要を取り込むしかない。現地法人を設けている中国では、産業の成長にともなう、省エネのニーズが高まっており、主力製品のメカニカルシールはモーターなどからの液漏れを防ぐもので、受注が伸びてきている。今後もアジアの成長を取り込みたい。

■昨年、シンガポールにメンテナンスの子会社を設立した。東南アジアに進出した日系企業を中心に現地のメンテナンスセンターを設けたい。

(メカニカルシール、カーボンの製造販売)

タンケンシールセーコウ 渡邊 敏廣社長

東京ダイヤモンド工具製作所

鍋田 利幸第一営業部長



LED部品向け工具拡販

■きわめて厳しいと思う。為替やヨーロッパの債務危機など、経済状況を巡る不確定要素があまりに多い。ことに、グローバルな世界規模に匹敵するようない世界規模の経済危機につながるかもしれない。

■電力不足から、発光ダイオード(LED)電球への注目度が高まっている。部品の加工用としてウチのダイヤモンド工具を売り込んでいきたい。

■暗い社会を明るくできるよ。目の前の仕事にこころ取り組みたい。(ダイヤモンド工具の製造販売)

堀口エンジニアリング

堀口 昇治社長



食品・化学プラントなどに注目

■次世代中型機「ボイング787」が就航を始めるなど、航空機市場は伸びている。ウチが得意とする航空機用の支援機材や昇降台の設置も仕事量は増えるだろう。ただ、全体的には決して景気はよくない。

■主力事業である航空機分野から、横展開を図る。食品・化学プラントのメンテナンスや工作機械の修理に注目している。創業65年で培った技術とノウハウをこれらの分野に売り込んでいく。

■常時、取引がある顧客を増やす。現在は上位50社の顧客が、売り上げの8割を占めている。新しい分野を開拓すること。将来的に100社まで伸ばしたい。(各種機械・装置の設計・製造・メンテナンス)

溶接機械・材料・産業機器・環境機器 代表取締役社長 井上 裕之 愛知産業株式会社 〒140-0011 東京都品川区東大井 2-6-8 TEL.03(6800)1122 FAX.03(6800)2066 URL : http://www.aichi-sangyo.co.jp	各種エネルギー計測・制御システム、光通信関連機器などの製造・販売 代表取締役社長 渡邊 佳英 大崎電気工業株式会社 〒141-8648 東京都品川区東五反田2-10-2東五反田スクエア TEL.03(3443)7171 FAX.03(3443)9514 URL : http://www.osaki.co.jp/	通信機器・半導体製造装置などの製造・販売 代表取締役社長 根本 武夫 株式会社幸大ハイテック 〒105-0004 港区新橋4-2-1-3 新橋東急ビル3階 TEL.03(6895)7511 URL : http://www.kodai-ht.co.jp/	ガス栓、バルブの製造、販売 代表取締役会長兼社長 大山 忠一 光陽産業株式会社 〒142-0042 東京都品川区豊町4-20-14 TEL.03(3787)3411 FAX.03(3786)7296 URL : http://www.koyosangyo.co.jp/
タッチパネル、FPD/OLED、光学機器、マスクブランクス、太陽電池向け薄膜製品の製造販売 代表取締役社長 松崎 建太郎 ジオマテック株式会社 〒220-8109 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー9F TEL.045(222)5720 FAX.045(222)5735 URL : http://www.geomatec.co.jp/	総合建設 代表取締役社長 田中 常雅 醍醐建設株式会社 〒146-0094 東京都大田区東矢口3-7-3 TEL.03(3733)0511 FAX.03(3739)3938 URL : http://www.daigo-group.jp/	産業用高圧ガスの販売および関連業務のコンサルタント 取締役社長 川村 章夫 田邊ガステクノ株式会社 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-9-30 横浜東急ビル6F TEL.045(317)6658 FAX.045(317)6659 URL : http://www.tanabegas.co.jp/	メカニカルシール、カーボン製品等の製造・販売 代表取締役 渡邊 敏廣 株式会社 タンケンシールセーコウ 〒146-0093 東京都大田区矢口3-14-15 TEL.03(3750)2151 FAX.03(3750)5171 URL : http://www.tankenseal.co.jp/

東京産学交流会入会のご案内

◆ご案内◆

ビジネスチャンスの拡大と技術のレベルアップのために入会をお勧めします!!

東京産学交流会(通称:サザンクロス)は、南東京地域の中堅・中小企業18社と、芝浦工業大学、東京都市大学、東京都立産業技術高等専門学校で組織された産学交流組織で、会長を渡邊佳英大崎電気工業会長が務めています。

93年にSIT産学交流組織として発足。「第二の創業」をコンセプトに、南東京地域の産業を盛り上げるため、産学交流に着目した活動を続けています。

月に1回、ビジネスチャンス拡大のために、講演会や工場見学会などの定例会を実施しています。異業種、異分野同士で交流を進め、モノづくりへの理解を深めていきます。

産学交流を推進して会員企業の技術レベルを上げ、地域産業の発展に寄与する事を目指しています。

◆入会の手続き◆

経営者の皆様をはじめ、理工系大学や自治体の方々が自由に集まり、親睦を深める東京産学交流会にぜひ、ご入会ください。
お申し込みは下記の事務局へお願いします。

年会費 76,000円



東京産学交流会 事務局

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-46-1 秋元ビル4階



日刊工業新聞社 南東京支局内

TEL03(3732)5451 FAX03(3732)5453

第一線研究者による成果発表会やセミナー、懇親会などを通じ、最新技術の動向にふれることができる